

26年度

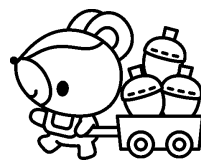
こばと子育て支援センター便り

社会福祉法人愛育福祉会 こばと保育園

10月

住所 : 延岡市大武町5299

電話 : 0982(35)3737



第40回 親子の集いへの参加、ご協力ありがとうございました。
子どもたちのがんばる姿、保護者や地域の皆さまの応援に
心から感謝いたします。



==*==*==*==*==*==*==*==*==* 舳(もやい) ==*==*==

～子ども・子育て新制度について～

平成24年8月、日本の子ども・子育てをめぐる様々な課題を解決するために、「子ども・子育て支援法」という法律ができました。

この法律と、関連する法律に基づいて、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進めていく「子ども・子育て支援新制度」が、早ければ平成27年4月に本格スタートします。この新制度の実施のためには、消費税が10%になった際の増収分から、毎年7,000億円程度が充てられることになりました。

貴重な財源を子ども・子育て支援のために効果的に活用していきます。

ただし、現在のすべての保育所、幼稚園が移行するわけではありません。県・市が利用者(児)の需要と供給のバランスによって決定していきます。こばと保育園が保育所型認定こども園に移行するか否かを決定した場合には、利用者の皆さまに速やかにご説明をさせていただきます。この新制度により、平成27年度入所児が次のように認定区分を受けることになります。

認定区分は3つにわかれます。

- <1号認定> 3～5歳の教育を希望する者で、1日4時間程度の利用となり、利用施設は幼稚園または認定こども園です。
- <2号認定> 3～5歳の保育が必要な者で、利用施設は保育所または認定こども園です。
- <3号認定> 0～2歳の保育が必要な者で、利用先は保育所、認定こども園、地域型保育となります。

この認定区分により、パート勤務や働いていない家庭の3歳以上の子どもが、今までのように、幼稚園だけでなく、保育所型認定こども園の利用が可能になります。

又、児童クラブに関しては、社会(地域)状況に不安感があるととも「小1の壁」「小4の壁」と学童の居場所が足りない状況にあります。今後、市の「子ども子育て会議」においてのいろいろな子育て支援施策の決定をその都度お知らせしていきたいと考えています。



10月 おもな活動計画



<月のことば>


秋風 さわやか いい気持ち 木の実・葉っぱ 宝物み〜つけた!

<生活のめあて>

地域の人との交流を楽しみ、挨拶や「ありがとう」が素直に言えるようになろう

<活動のめあて>

様々な集団あそびやごっこあそびをイメージをふくらませながら楽しむ

	第1週 1日 ~ 10日	第2週 14日 ~ 18日	第3週 20日 ~ 25日	第4週 27日 ~ 31日
ひまわり	<ul style="list-style-type: none"> ・団七おどり ・戸外でゲーム遊びを楽しもう 色つき鬼 こおり鬼 ・秋さがし散歩 ☆体育・硬筆 8日	<ul style="list-style-type: none"> ・製作あそび アクリル絵の具を使って描き、用具の使い方を覚えよう ☆英数 17日	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな絵本をみつけてじっくり読もう ・ハロウィンの準備をしよう ☆体育 22日 ☆英数 24日	<ul style="list-style-type: none"> ・劇あそび ・楽器あそび ☆体育 29日 ☆英数 31日
ばら	<ul style="list-style-type: none"> ・運動あそびをしよう てつぼう うんてい ☆体育 8日	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムあそびをしよう ・秋を探しに散歩に行こう ☆英数 17日	<ul style="list-style-type: none"> ・自然物を使ってお部屋飾りを作ろう ☆体育 22日 ☆英数 24日	<ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィンパーティーの準備をしよう  ☆体育 29日 ☆英数 31日
すみれ	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の自然を見つけないに行こう どんぐりや松ぼっくりなどを探そう 	<ul style="list-style-type: none"> ・見つけた自然物で作ってあそぼう 音のなる楽器を作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィンの作り物をしよう 〜ハロウィンパーティーの作り物をみんなで作ろう 自分の作った楽器でリズムあそびを楽しもう 	
ちゅうりっぷ	散歩 秋の自然物を探しに行こう	製作 見つけた自然物で楽器作りをしよう	リズムあそび 作った楽器で色々な音を奏でよう	ハロウィンのバックを作ろう
つぼみ	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩〜どんぐりなどの木の実を見よう、触れよう ・砂場〜すくったり、こぼしたり容器に入れてあそぼう ・大型遊具あそび〜体全身をつかって、登ったりまたいだりしよう ・食べた後の手洗い、口洗いをしてみよう 			

※こばと保育園は、活動のめあてにそってクラス活動を計画します。

<月の主な行事>

14日(火)〜17日(金) 評価活動コンクール(試食日16日)

16日(木) 家庭教育学級(19:00〜 こばと1階ホール)

26日(日) 愛育祭バザー

弁当日
25日(土)

すくすくコーナー（保健・健康 等）

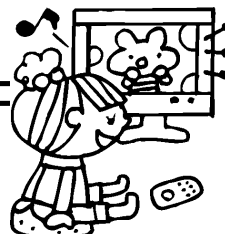
10月10日は、目の愛護デーです。

乳幼児期は子どもの目が最も育つ時期です。子どもの「目」の健康を改めて見直しましょう。

～👁️「見る力」を育てるポイント～

- 明るさ、暗さのメリハリある生活、日中は光を浴び、夜は部屋を暗くして眠る。
- 広い空間で目を動かす機会をつくる。～全身運動は眼球、視神経、脳の発達を促します
- テレビやゲームは時間を決めて観る。

※気温に合わせて衣服の調節ができるよう、ご準備ください。
※ひまわりクラスは就学前の視力・聴力検査があります。



あ・の・ね（地域情報・つぶやき 等）

運動会の練習のあと昼食中のこと、部屋に秋の風がす〜っと吹き抜けました。

すみれ（3歳）男児A 「わぁ〜 するし〜！！」（※本人は「涼しい」と言いたい。）

すみれ（3歳）女児B 「ちがうよ。『すゆし〜』よ」

ばら（4歳）男児C 「うん。さわやか〜だね！」

・・・AちゃんとBちゃんは、尊敬の目でCくんを見つめていました♡

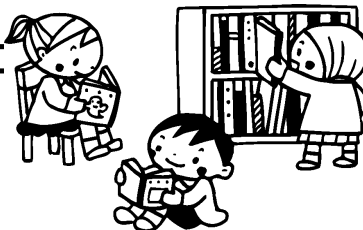
観劇のお知らせ ～演劇企画「二人の会」より～

濱崎けい子氏（二人の会）より、素敵な秋の観劇のお知らせがありました。『スーホの白い馬』にも登場する「馬頭琴」の音色を聴きながら、秋の夕べを過ごしてみませんか？

語りとホーミーと馬頭琴と・・・「耳を澄まして・・・」

10月17日（金）18:30 開場 19:00 開演 チケット¥2,500（大人）

延岡ハーモニーホール ※こばと事務所にもチケットがあります。お尋ね下さい。



おすすめの本

○幸せの王子○ ワイルド作

自分の持っている物をすべて貧しい人に与えた王子。そして寒い国では生きていけないことを知りながら、王子の目となり死ぬまで尽くしたツバメ。

幸福とは、人それぞれであることを伝えている一冊です。

○きたかぜのおくりもの○ アスビョンセン作

母親と二人暮らしの貧しい家庭の男の子が、北風に大事なパンの粉をさらわれて・・・。

ノルウェー民話の力強さ、おおらかさが感じられる一冊です。

今月のうた・てあそび

♪もみじ

♪まっかな秋

♪通りゃんせ

♪やぎさんゆうびん

♪小さな秋

♪山の音楽家

♪タヤケコヤケ

♪いもほりのうた

♪やきいもグーチャーパー

♪心のバトン

♪大きな栗の木の下で



先月のおはなしひろば

朝のお集まりの時に、先生達がさまざまなお話をします。その内容やお話を選んだ理由、また、お話をした時の子どもたちのようすなどをお知らせします。

○ 内 容 ○

○ 選んだ理由 ○

○ 子どもの様子 ○

岩田先生（つぼみクラス）のおはなしより

「防災」について

9月1日が防災の日なので、紙芝居を見せながら関東大震災のことを話しました。9月は台風も多い時期なので、地震、台風から命を守るための訓練をする日ということを伝えました。

地震はいつ起こるのか分かりませんが、普段から訓練や準備をしておくことと良いことや避難の仕方などを確認したいと思い、選びました。



関東大震災は、大正時代に起きていますが、紙芝居をみながら説明したので、みんな真剣に見てくれました。防災用品も興味を持って見ていましたよ。

山下先生（ちゅうりっぷクラス）のおはなしより

「十五夜」について

9月8日は十五夜でした。

「十五夜って何？」

秋の収穫に感謝する収穫祭であることを伝えました。

9月の第2週目は十五夜でした。

「十五夜の意味」や地域によっては「いもぱくり」などと呼んで、家々をまわってお菓子をいただく風習があるということを伝えたくて選びました。



「お月さまの中には、ウサギがいる！おもちを作っているとよ〜」など・・・

かわいらしい答えがたくさん返ってきましたよ。夜の星空がきれいな時期になりましたね。

秋本智子先生（以上児クラス）のおはなしより

「敬老の日」について

9月15日が敬老の日なので、「敬老」とは何のことなのか、なぜこんな日があるのか。

昔の人の知恵など、わかりやすく伝えました。

おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に住んでいる子どもも少なくなり、お話することで、敬う気持ちが持てるようにと考えました。

自分のお父さんやお母さん、おじいちゃん、おばあちゃんにも、おじいちゃん、おばあちゃんがいること、ずっとつながっていることに驚いていました。

